



子どもボランティアコーディネート支援校の取組



皆様から寄附頂いた、ふくい市民活動基金で応援している小中学校の活動を紹介します！

越廼小学校



越廼中学校と協力して、校区内の大味海岸の清掃を行いました。福いいネ！くんなどのキャラクターとともに、楽しみながらボランティア活動ができました。

また、交流のある福祉施設と温泉施設に、自分たちで育てた花を贈呈しました。プランターには、越廼をPRするラベルをデザインして貼りました。

自分たちの活動が、地域の方の笑顔につながることを実感する活動となりました。

西藤島小学校



地域の方をゲストティーチャーに招き、西藤島地区や日野川についての授業を受け、自分たちが地域のためにできることは何かを考えました。

また、日野川河川敷の清掃や、ボッチャを使った福祉体験を経て、さらにボランティアについての関心を深めることができました。

最後に、今まで学んだことや考えたことを発表したことで、ボランティア活動の重要性を再認識することができました。

日新小学校



講師から手話や点字活動についての話をきいたり、ボッチャの講習会、体験を通して障がい者スポーツへの理解・関心を深めたりするなど、福祉に関するボランティアについて学びました。

また、地域の高齢者への年賀状作成、学校周辺の雪かきボランティアを行い、地域のためにできることをすることで地域に貢献できると実感することができました。

明新小学校



地域でボランティア活動を行っている方からの話を聞いたり、福祉施設への訪問や施設を利用している方との交流等を行いました。

1月には、これらを通して学んだことや考えたことをまとめ、他の学年に向けて発表しました。

子どもたちの視点で、学校や地域でできるボランティアを考え取り組むことで、周りの人の笑顔につながることを学びました。

越廼中学校



5月にあった地域のまつりにボランティアスタッフとして参加してまつりを盛り上げ、6月と11月には海岸清掃を行いました。海岸清掃で集めたシーグラスや海ごみからキーホルダーやアクセサリーを作るなどし、楽しみながら海ごみ問題への理解を深めることができました。

1年を通して、自分たちにも地域のためにできることがあることを学び、活動する意欲を高めることができました。

藤島中学校



美術部で、手作りのパズルを制作し、地域の幼稚園に寄贈しました。子どもたちに楽しく遊んでもらえるように、どのような絵柄にするかなど工夫を凝らして制作を進めました。寄贈の時には、園の子どもたちと交流し、一緒にパズルを楽しみました。

地域の幼稚園でのボランティアであったため、自分たちの活動で喜んでくれる人がいることが実感でき、達成感やボランティアへの意欲が醸成されました。

ボランティアアカデミーをふりかえって

講義と体験を通して、ボランティアを始めるきっかけとなる今年度のコースを紹介します。

駅ボランティアコース

講師：齊藤 輝幸 氏、清水 一己 氏、東 利子 氏
協力：福井市社会福祉協議会、えちぜん鉄道株式会社



新幹線開業に向け、駅で困っている人へのサポートを学び、おもてなしの心を培う「駅ボランティアコース」を開催しました。

福井駅西口再開発の変遷と新幹線開業に向けた取組を学び、福井駅に新設された観光交流センターを見学しました。高齢者・障がい者サポートコースでは、障がいのある講師から日頃不便に思っていることや助けてほしいことを聞き、車いす操作・ガイドヘルプについて学びました。その後、介助される役、介助する役に分かれ、えちぜん鉄道福井駅に移動し、バリアフリー施設の見学・体験を行いました。外国人等旅行者サポートコースでは、日本語講師から、電車の遅延や不通の案内を「やさしい日本語」への言い換え方を学びました。

参加者からは「学んだことを生かして、駅で困っている人へ積極的に声掛けをしていきたい」など、うれしい感想が聞けました。多くの観光客が見込まれるなか、駅を利用する方々へのきめ細かな対応が期待されます。

ものづくりコース

講師：グリーンケア福井 代表 山崎 純子 氏
：ふくい子どもホスピス 代表 石田 千尋 氏

がん患者を支援する団体の話を聞き、寄附に繋がるチャリティグッズの作製と支援を行う「ものづくり」講座を開催しました。

前期では、がん患者とその家族への支援のかたちを学び、支援へと繋がるチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」に寄附するチャリティグッズを作製しました。参加者からは「このようなボランティアがあることを知ることができ、とても良かった」などの感想があり、今後のものづくりボランティアの参加促進へと繋がりました。

後期では、県内でこどもホスピス開設を目指す「ふくいこどもホスピス」の活動や施設の必要性について学び、団体支援へと繋がるチャリティグッズを作製しました。参加者からは「とても良い経験になりました。この気持ちを広めていきたいです」などの感想があり、講座を通して更なる支援の輪が広がりました。



養浩館ボランティアコース

講師：森口庭演 森口 朝行 氏

「養浩館庭園」の庭仕事を学び、観光おもてなしに生かすための講座を夏と秋に開催しました。

養浩館庭園は国指定の名所であり、JR 福井駅からも近いため新幹線開業後の観光スポットとして注目されています。

夏コースでは、やり水(水路)を綺麗にするため小石の苔をひとつつつタワシで洗い、秋コースでは、園内の落葉清掃を行いました。

参加者からは、「養浩館についての知識を得られて良かった」、「ボランティアのみならず庭師さんと話ができて役立った」などの感想があり、自分の手で庭を美しくすることで愛着を持てただけだったようです。受講後、ボランティアグループ「御泉水倶楽部」に入会された方もおり、今後の活躍が期待されます。



子どもの居場所づくり コース



講師：NPO法人BRICOLAB代表理事 永田 弘幸 氏

高校生、大学生を対象とした「子どもの居場所づくり」について学ぶ講座を開催しました。

講義では、講師が海外で得た経験を通して、家庭や学校以外で子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりの必要性について学びました。

また、BRICOLABの想い等について学び、子どもたちとの関わり方について理解を深めました。

学校に通えない子どもたち、家庭の事情を抱えている子どもたちの居場所であるBRICOLABでの体験は、子どもの居場所づくりの必要な理由が全て詰まっており、交流を通して学ぶ機会となりました。参加者は「活動に取り組む際の考え方や方法が学べ役立つ内容だった」などの感想があり、満足感に溢れていました。

今後は、この分野での若い方の自主的なボランティア活動が期待されます。

地域の居場所づくり コース

講師：社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 杉本 吉弘 氏
協力：福井ふるさと茶屋杵と臼、清明ささえあいの家
ささえあいの家 照手ふれあいよろず茶屋、なつめカフェ

地域の居場所が、住民とボランティアをつなげる場となることで、支え合いが充実することを学ぶ講座を開催しました。

講義では、地域の居場所の必要性について学び、実際に活動している4団体から、地域に寄り添った取組の紹介がありました。

体験は、誰でも気軽に立ち寄れる「地域カフェ」と高齢者と交流できる「よろず茶屋」の2コースです。地域カフェでは、餅つきイベントの手伝いや広い世代の方との交流、「よろず茶屋」では、小物作りやゲームで高齢者の方とのふれあいを楽しみました。

参加者からは、「地域に関心を持ち、つながりを大事に自分のできるボランティアをしていきたい」などの感想があり、講座を通して、福祉ボランティアへの関心の高まりを感じました。



子ども食堂 コース

講師：NPO法人かさじぞう理事長 吉川 美香 氏
移動子ども食堂くるくるごはん804代表 藤井 貴子 氏

子どもたちや地域の人々が「食」を通じて楽しく通う「子ども食堂」をテーマに、現代の子どもを取巻く現状や子ども食堂の役割を学び、実際の活動を体験する講座を開催しました。

参加者からは、「それぞれ特色のある子ども食堂の活動が理解でき、ボランティアの重要性と、子どもたちとの交流を通じて、優しい気持ちを持って子どもたちに接することで、喜んでもらったのが嬉しかった」「楽しく体験できたので、また参加してみたい」などの感想が聞かれました。

今後、関心をもった参加者が、ボランティア活動をすすきかけとなることに期待しています。



2/22
開催

みんなが参加しやすいボランティアを考えよう

【講師】

永井 裕子 氏（福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科助教）

【協力】

蟻塚 光男 氏（社会福祉法人 足羽福祉会）

平良 民枝 氏（だれでも食堂 夕焼けこやけ）

林 美紀 氏（自助グループ ゆっくり）

近藤 正朗 氏（医療法人社団 オレンジ）



ボランティアには、様々な人が参加され、その関わり方には柔軟性が求められます。本講座では、福祉サービス事業者や企業、市民活動団体等を対象に、ボランティアの受入れや送出しの際に必要な関係づくりについて学びました。

講義では、活動先が全ての人にとって「居場所」となる考え方や視点について学びました。また、様々な工夫で、ボランティアと良好な関係を築いている団体の事例紹介がありました。グループワークでは、講師を交えての情報交換や自分たちにできる工夫について話し合いました。参加者からは、「新たな学びや再確認ができ、今後の活動に生かしていきたい」などの感想があり、ボランティア活動支援のためのコーディネーション力向上を図る機会となりました。

ボランティア活動のスキルを高める

やさしい日本語ワークショップ

講師：NGO ダイバーシティとやま事務局長 柴垣 禎 氏



外国人や子ども、高齢者、障がいのある人などとの意思疎通を円滑にし、より充実したボランティア活動につなげるため「やさしい日本語」を学ぶ講座を開催しました。グループワークでは、各グループに外国人が入り、わかりにくいと感じる表現をわかりやすくするためのアドバイスをしました。

参加者からは、「やさしい日本語で説明するのは難しい」「外国人が困っていること、わからない言葉など、普段気づかないことがわかった」「協力し合うことで、より良いアイデアがでてきたので、協力すれば、良い社会になると思う」といった声が聞かれました。

多様なボランティアの情報を得る

群馬県の学生から学ぶ

ヘッドネーション講座

講師：NPO 法人 Smiles for Children Japan

副代表理事 伊谷野 友里愛 氏

病気や治療等で頭髪を失った方へ、髪の毛を寄附するボランティアについて学び、医療用ウィッグを作製し、無償で提供を行っている団体の活動等について理解を深める講座を開催しました。

参加者からは「自分にも何かできることはないかと考えさせられた。もっとヘッドネーションの輪を広げたい」などの感想があり、今後が期待される講座となりました。



市民活動団体を応援する取組の紹介

2/4
開催

助成金合同説明会

助成事業：福井県まごころ基金
ふくしん地域振興協力基金
こくみん共済 coop 地域貢献助成
福井県ワクワクチャレンジプラン
ふくい市民活動基金



市民活動団体の活動資金の一助となる助成金制度について説明会を行いました。5つの事業者が、それぞれの制度の内容や、申請書の書き方、提出の際のポイント等を参加者に伝え、積極的な応募を呼びかけました。

説明終了後は、各事業者による個別相談会を行いました。参加者は申請を検討している事業者のブースで、熱心に相談や質問をしました。参加者からは、「初めて説明を受けた助成金制度もあり、参考になった」などの感想があり、助成金を活用した更なる活動促進へ繋げていただく機会となりました。

2/18
開催

市民活動のためのAED・救命講習

講師：NPO 法人命のバトン



NPO 法人命のバトンから、市民活動中のいざという時の適切な救命処置のために、必要な救命処置の知識や心肺蘇生法を学ぶ講習会を開催しました。

講義では、継続的に活動している命のバトンの取組について学び、体験では、1人1体ずつのマネキンを使用してAEDの正しい使用法と心肺蘇生法を実践的に訓練しました。

参加者は、講習を受けたことがあっても救命処置が必要となった場合、落ち着いて適切な行動がとれるように、定期的に訓練することが大切だと実感していました。また、市民活動団体の活動中に、救命処置が必要となった場合も、今回の訓練が生かされることを期待しています。

3/3
開催

いのちと暮らしを守るために 災害時にできることを学ぼう



講師：NPO 法人災害看護研究所

市民活動団体の活動への理解を深め、参加促進を図ることを目的とした講座を開催しました。

講義では、能登半島地震で被災した現場での実際の活動内容や、災害に備えた対応と心構えについて学びました。体験では、被災時に役立つ応急手当や、新聞紙を使ったスリッパ、段ボールトイレなどの防災グッズを作りました。

参加者からは、「災害に対する知識が深まり、体験でスリッパや段ボールトイレ作りができて良かった」「地域でもやってみよう」などの感想があり、団体の活動への関心が高まっていました。

自然災害が多い中、市民活動団体の活動を支援したり、ボランティア活動に繋げていくためのきっかけになった講座となりました。



新幹線開業を契機とした市民活動の担い手づくり

おもてなしって何だろう？

～北陸新幹線で、東京⇄福井ついに直結。
わたしのおもてなしを考えよう。～



ファシリテーター：アルマス・バイオコスモス研究所 代表 水上 聡子 氏



北陸新幹線開業後に福井駅を訪れるたくさんの観光客をターゲットとした、市民が主役のおもてなし活動について考えるワークショップを、新幹線プロモーション課との共催で行いました。

ワークショップでは、金沢駅を拠点に活躍している「金沢おもてなし隊」を招き、メンバーから活動への想いを直に聞くことで、参加者から自分たちができる「福井らしいおもてなし」についてのアイデアが出ました。

地元の人だからこそその熱い意見があり、福井を盛り上げていくきっかけとして、これからの活動に繋げていきたいと思える内容となりました。

令和5年度 県民社会貢献活動功労者知事表彰

県内の社会貢献活動のうち、特に優れた活動や先駆的な活動をした個人や団体に対する県の令和5年度表彰式が2月24日、福井県国際交流会館であり、当センター登録団体の「(特非)ふくい路面電車とまちづくりの会」が社会貢献活動功労者知事表彰を受賞されました。今後の活躍にも期待しております。



(特非)ふくい路面電車とまちづくりの会

モビリティ・ウィーク及びカーフリーデーに合わせ、毎年9月に公共交通に親しみをもってもらえるパネル展やイベント等を開催しているほか、県内のバスや鉄道の路線、乗り継ぎ箇所がわかる「ふくいのりのりマップ」を発行しています。

さらに、「福井市地域生活交通活性化会議」、「えちぜん鉄道活性化会議連携協議会」、「福井鉄道福武線サポート団体協議会」等、公共交通関係の多数の会議に委員や幹事として参画しており、永年にわたり公共交通利用の推進とともに、公共交通を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

ボランティアネットをご活用ください！

- あなたにあった活動が見つかります！
- ボランティアの情報がわかります！
- 講座や交流会に参加できます！
- 交流ひろばや研修室がつかえます！
- チラシやポスターが印刷できます！



福井市総合ボランティアセンター

〒910-0006 福井市中央1丁目2-1ハピリン4階

福井市市民協働・ボランティア推進課

TEL:0776-20-5107 FAX:0776-20-5168

E-mail:volunteer@city.fukui.lg.jp

【開所時間】 火曜～金曜日 9時から21時 【休所日】 月曜日、祝日、年末年始
土曜日・日曜日 9時から17時 (祝日が土日の場合は開館)



総ボラは、ボランティアネットの他、SNSで情報発信を行っています。

フォロー&いいね！よろしくお願いします。

